



Influenza at the human-animal interface

動物由来インフルエンザ情報

2013年4月26日現在の概要と評価

1 鳥インフルエンザ A (H5N1) 型ウイルスによるヒトの感染症と関連した動物衛生事象

2003年から2013年4月26日までに、ヒトの鳥インフルエンザ A (H5N1) ウイルス感染症で、15カ国から公式に628人の検査確定症例が WHO に報告されました。そのうち374人が死亡しています。

2013年3月12日の更新以降では、新たに6人のヒトのインフルエンザ A (H5N1) ウイルス感染症の検査確定症例（バングラディッシュ（1人）、カンボジア（1人）、エジプト（2人）およびベトナム（2人））が WHO に報告されました。これらの事例に関する調査により、これらの症例は散発症例で、散発症例の出現は予想されていたことで、今後もたぶん発生するであろうと評価されました。

2013年当初から、カンボジアは、インフルエンザ A (H5N1) ウイルス感染で、8人の死亡例を含む10人のヒトの症例を報告しました。これらの症例は、すべて南カンボジアの5つの州で発生しています。これらの症例は直接関係しているようには思われず、多くは彼らの村で病気の家禽と接触していました。症例から分離されたクレード 1.1 というウイルスは、地域で家禽から分離されたウイルスと非常によく似ています。これらの症例関係者の調査では、新たな症例は発見されませんでした。このことは、ヒト-ヒト感染よりも、感染した家禽との接触あるいは汚染された環境由来の散発的な感染症であることを示しています。また、カンボジアでは、A (H5N1) ウイルスが地域の家禽に循環していることが示されており、更なるヒトの散発症例が予測されています。

表1 鳥インフルエンザ A (H5N1) ウイルス感染によるヒトの確定症例

発生国	発生地	年齢	性別	発症日	入院日	タミフル治療開始日	死亡日	接触歴
カンボジア	Kampot	5才	男性	27/03/2013	31/03/2013	01/04/2013		不明
エジプト	Menofia	40才	女性	03/03/2013	08/03/2013	不詳		病気で死んだ家禽
〃	Elmanzala	26才	男性	30/03/2013	05/04/2013	07/04/2013	08/04/2013	健康なハト、近所の家禽
ベトナム	Dong Thap	4才	男性	23/03/2013	26/03/2013		04/04/2013	病気で死んだ家禽
〃	Long An	20才	女性	11/04/2013	14/04/2013	不詳		近所で死んだ家禽
バングラディッシュ	Chittagong	2才	男性	11/02/2013	12/02/2013			病気で死んだ家禽

鳥インフルエンザ A (H5N1) ウイルスの公衆衛生リスク評価

インフルエンザウイルスは絶えず家禽類を循環しており、ヒトの症例の散発的感染症例や小規模の集団発生は、特に、家庭で飼育している感染家禽や汚染された環境に接触するヒトに可能性があります。しかし、現在、この H5N1 ウイルスは簡単にはヒトに感染しないので、このウイルスが地域社会へ拡散するリスクは低いままです。したがって、このウイルスに関係する公衆衛生上のリスクは変わっていません。

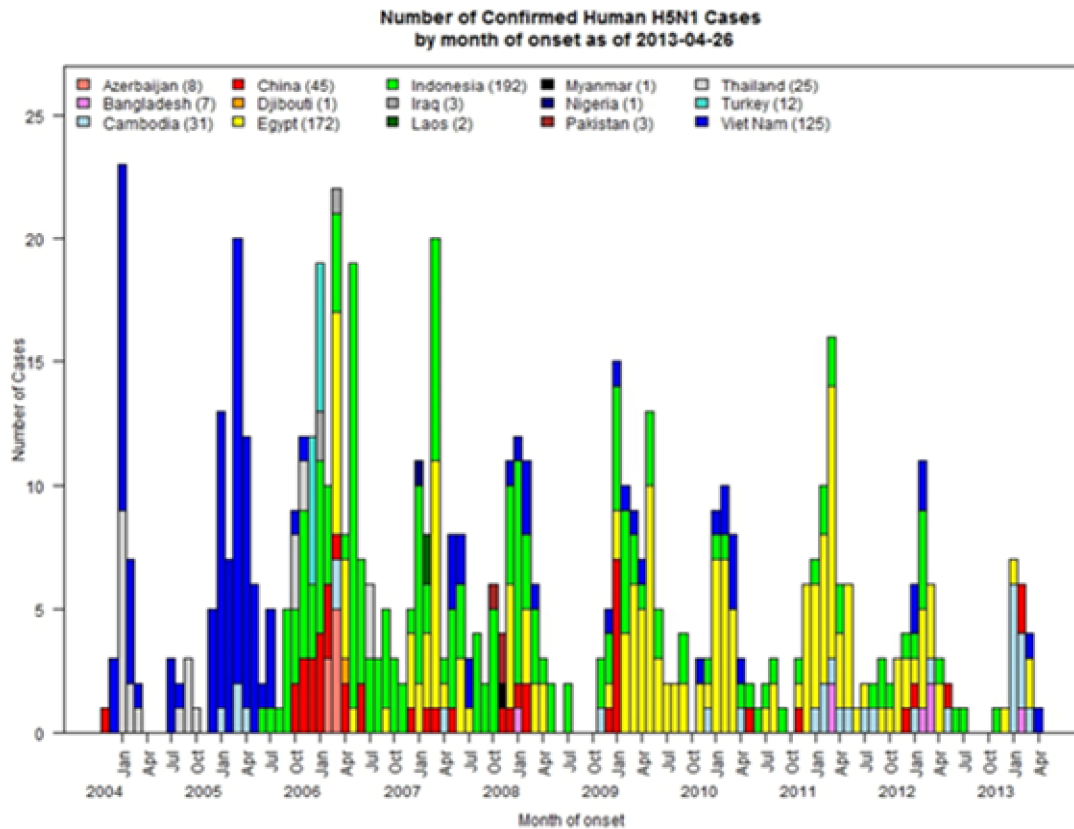
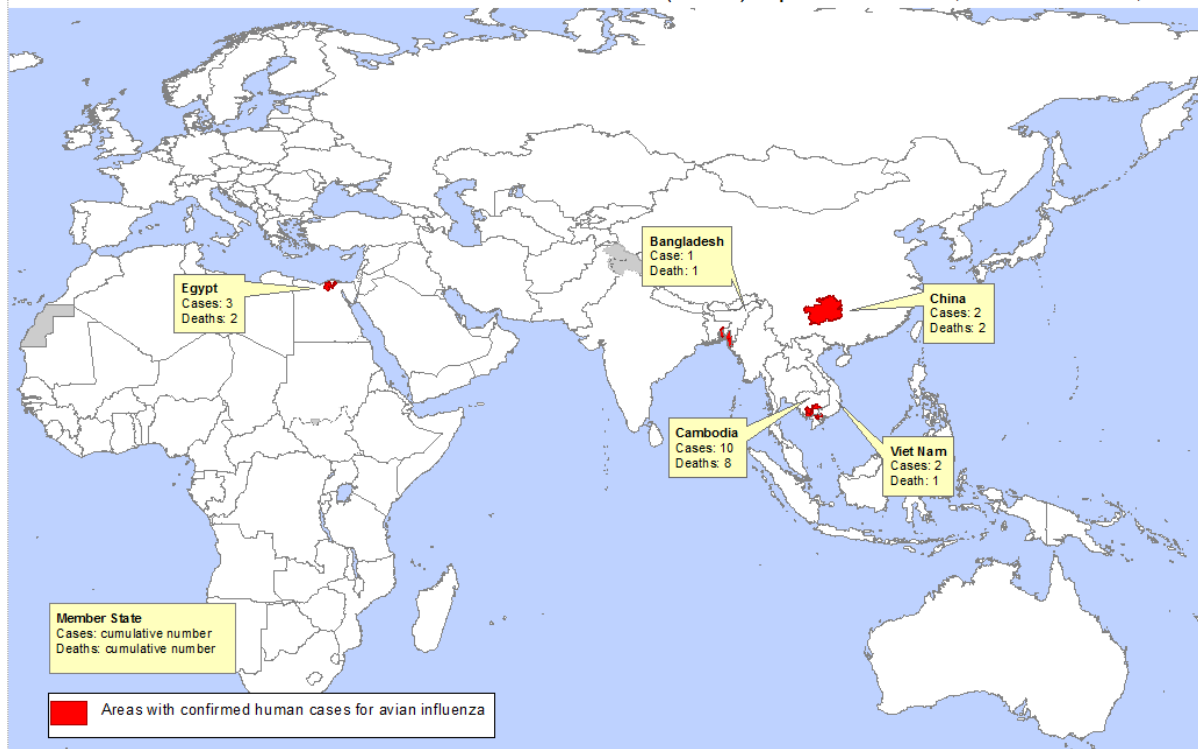


図1 国別・発症月別ヒトの鳥インフルエンザH5N1症例の疫学統計

Areas with confirmed human cases for avian influenza A(H5N1) reported to WHO, 2013- to-date*,



*All dates refer to onset of illness
Data as of 26 April 2013
Source: WHO/GIP

The designations employed and the presentation of the material in this publication do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or its authorities, or concerning the delimitation of its borders or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be a firm agreement.
© WHO 2013. All rights reserved.

図2 2013年におけるヒトのA(H5N1)型鳥インフルエンザの確定症例発生地

2 季節性インフルエンザウイルス以外によるヒトの感染

○ A (H7N9) 鳥インフルエンザ

中国は、2013年3月末から、鳥インフルエンザA (H7N9) ウイルスによるヒトの感染症例を報告しています。この件については綿密に経過観察され、別途危害評価が行われています。

○ 潜在的な公衆衛生上の脅威である動物のインフルエンザ発生

総括的に、鳥におけるインフルエンザ発生の公式な報告は、発生予測される時期の状況次第です。北半球の夏の始まりには、鳥のインフルエンザの発生報告数は、減少することが予測されます。しかし、中国でのインフルエンザA (H7N9) ウイルスの循環は、われわれが鳥類における他の低病原性インフルエンザH7型ウイルスで見ていると予想している季節的パターンとは異なるかもしれません。

インフルエンザウイルスは常に進化する性質があるため、WHOは動物とヒトにおけるインフルエンザウイルスについて世界的に監視し続けることの重要性を強調し続けており、平常時のインフルエンザサーベイランスを強化することを、すべての加盟国に勧奨しています。季節性インフルエンザウイルス以外のすべてのヒトの感染は、IHR (世界保健規則、2005) に則ってWHOに報告されます。

平成 25 年 (2013 年) 4 月 30 日

滋賀県衛生科学センター
健康危機管理情報センター 仮訳